

食とジェンダー

参加費無料
事前申込制

会場対面参加(先着350名)
同時配信あり(定員無)

私たちは誰もが毎日、例外なく「食」に関わっています。生存や健康に密接に関わることはもちろん、創作や趣味として、家庭での営みや役割として、産業分野で生産者・消費者として、ビジネス分野で経営者・労働者として、学術研究の対象として等々。食の裾野は広いものです。

2026年度の連続講座[全2回]では、こうした最も身近で普遍的な食をジェンダー視点で見つめ直します。2027年4月に京都女子大学には新たに食科学部(設置届出中)が、食物栄養学科、食マネジメント学科の2学科体制で誕生予定です。誰もが当事者である食について学び、食とジェンダーについて皆さまとともに楽しく考える機会にしたいと思います。

第1回の連続講座では、料理研究家の土井善晴客員教授が講演を行います。また、『食卓と家族』を研究テーマとする表真美副所長によるコメントのほか、土井氏と研究所メンバーによる鼎談も行います。

皆さまのご参加をお待ちしております。

Schedule

開会の辞	竹安 栄子 京都女子大学学長
第一部 講演	土井 善晴 京都女子大学客員教授 「料理を正しく理解し、論理的に行動すれば、 自ずからジェンダー論になるのではないか」
コメント	表 真美 京都女子大学 ジェンダー教育研究所副所長 「食卓と家族」
休憩	
第二部 鼎談	土井 善晴・表 真美・古久保 さくら 京都女子大学 ジェンダー教育研究所特定教授 モデレーター：手嶋 昭子 京都女子大学 ジェンダー教育研究所所長
閉会挨拶	手嶋 昭子

2026

8 / 1 (土)

時間

15:30~17:30

場所

京都女子大学 A校舎学園講堂

プロフィール

土井 善晴



1957年生。料理研究家、「おいしいもの研究所」代表。渡仏し仏料理、大阪にて日本料理を修業後、家庭料理研究の道へ。

- ・十文字学園女子大学副学長
- ・京都女子大学客員教授
- ・多摩美術大学客員教授
- ・甲子園短期大学、甲子園大学客員教授
- ・東京大学先端科学技術研究センター客員研究員
- ・外務省職員研修所日本文化講師

著書に「一汁一菜でよいという提案」累計44万部(新潮文庫)他多数。家庭料理を再評価する食事学研究により2022年文化庁長官表彰を受ける。

表 真美

京都女子大学発達教育学部教育学科
特任教授
著書に『食卓と家族』(世界思想社)など



[開催方法] ハイブリッド方式
(会場・YouTubeライブ配信)

[対象] 一般の方、学内教職員、
本学学生

[申込方法] 下記URL、または右記QRコードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/xey1Za8QNYFWRE1r5>

※会場対面参加については応募者多数の場合、先着順(先着350名)とさせていただきます。

[申込締切] 開催日の3日前まで

QRコードを読み取り、
専用サイトに
アクセスしてください



・講演内容等については、都合により変更することがあります。最新情報は本学ホームページをご覧ください。(https://www.kyoto-wu.ac.jp/laboratory/gender/index.html)